

## 好美清光名誉教授著作目録

### 一 著書・編著

昭和三七年

契約法体系Ⅲ(「賃借権に基づく妨害排除請求権」)(有斐閣)

昭和四一年

民法基本問題一五〇講Ⅰ(「条件と期限の異同」)(一粒社)

昭和四二年

注釈民法(6)(「物権的請求権」)(舟橋諄一編)(有斐閣)

田中誠二先生古稀記念・現代商法学の諸問題(「生命侵害の損害賠償請求権とその相続性」)(千倉書房)  
新民法演習2物権(「占有権」)(谷口知平他編)(有斐閣)

昭和四三年

注釈民法(7)(「即時取得(民法一九二条から一九五条まで)」)(川島武宜編)(有斐閣)  
資産管理等(金融商事判例体系第七巻)(事案・解説付き)の台本作成(大成出版)

会社法律大辞典（「会社の不法行為」）（石井照久編）（第一法規出版）

昭和四四年

民法基本問題一五〇講Ⅱ（「準事務管理」）（一粒社）

実務民事訴訟講座（3）（「交通事故訴訟における過失相殺の諸問題」）（鈴木忠一他編）（日本評論社）

昭和四五年

不動産法体系Ⅲ借地・借家（「不動産賃借権の侵害」）（中川善之助他監修）（青林書院）

有斐閣双書・民法（6）（「和解」）（遠藤浩他編）（有斐閣）

昭和四六年

民法総則・物権法（法学演習講座2）（「日照権、電波妨害と相隣関係」）（田中実他）（法学書院）

谷口知平先生還暦記念・不当利得・事務管理の研究（3）（「準事務管理の再評価——不当利得法等の検討を通じて

——」（阿南成一他編）（有斐閣）

昭和四九年

現代損害賠償法講座（7）（「慰謝料請求権者の範囲」）（坂井芳雄編）（日本評論社）

ドイツ法講義（「物権変動論」）（山田晟他編）（青林書院）

昭和五一年

不動産登記の法律相談（幾代通と共編著）（有斐閣）

民法学Ⅰ（「権利」概念の現代における有用性について）（奥田昌道他編）（有斐閣）

昭和五二年

銀行取引法講座(中)〔銀行取引と相殺〕(加藤一郎他編)(有斐閣)

昭和五三年

民法読本(1)(総則・物権)(米倉明と共編)(有斐閣)

民法読本(2)(債権)(米倉明と共編著)(有斐閣)

昭和五四年

民法読本(3)(親族・相続)(米倉明・久貴忠彦と共編)(有斐閣)

久保正幡先生還暦記念・西洋法制史料選Ⅲ近世・近代〔ドイツ民法典〕(翻訳)(創文社)

昭和五五年

基本判例叢書・民法(総則・物権)(編)(同文館書院)

日弁連昭和五四年度特別研修叢書〔日照権と建築基準法〕(講演記録)(日本弁護士連合会)

破産法〔破産と同行相殺〕(麻上正信監修)(経済法令研究会)

昭和五六年

講義債権総論(篠塚昭次と共編著)(青林書院)

昭和五七年

基本判例叢書・民法(債権)(編)(同文館書院)

基本判例叢書・民法(親族・相続)(久貴忠彦と共編)(同文館書院)

法律の相談百科(監修)(三宝出版)

昭和五九年

現代契約法体系Ⅱ(2) (「契約の解除の効力」) (遠藤浩他編) (有斐閣)

昭和六〇年

日照、眺望、騒音の法律紛争 (大倉・朝野と共著) (有斐閣)

昭和六一年

アイケ・フォン・ヒッペル・消費者の保護 (翻訳) (円谷峻と共訳) (東洋経済新報社)

平成元年

法哲学と実定法学の対話 (「権利論」) (法学教室九七号 (昭和六三年一〇月) より転載) (星野英一他編) (有斐閣)

平成二年

新版破産法 (「破産と同行相殺」) (麻上正信監修) (経済法令研究会)

## 二 論文

昭和三四年

債権に基づく妨害排除についての考察 (一橋大学法学研究二号)

権限を越えたことによる表見代理と本人の過失の要否 (手形研究二四号)

昭和三五年

高層建築と隣家の採光権 (時の法令三五四号)

手形債権による訴訟上の相殺と手形の呈示及び交付の要否(手形研究三〇号)

On the protection of the tenants in Japan, Hitotsubashi journal of law and politics, No.1.

不貞の抗弁とそのゆくえ(時の法令三四二号)

昭和三六年

登記画一主義の緩和・修正(手形研究四九号)

Jus ad remとその発展的消滅(一橋大学法学研究三号)

昭和三七年

信義則の機能について(一橋論叢四七巻二号)

不動産の二重処分における信義則違反等の効果(手形研究五七号)

占有権の機能(法学教室四号)

昭和三九年

ドイツにおける登記手続の実際(1)(2)(手形研究八〇号・八一号)

昭和四〇年

制限超過利息の任意支払と元本充当(手形研究八九号)

西ドイツ民法における理論と実際の一動向——概念法学克服の一側面——(一橋論叢五四巻三号)

昭和四二年

西ドイツにおける法解釈と自然法思想(一橋論叢五七巻五号)

学界回顧・民法(法律時報三九巻一四号)

昭和四三年

慰謝料請求権の問題点（法学セミナー一四二号）

昭和四五年

債権の妨害排除請求権（法学セミナー一六九号）  
最高裁と民事判例（法律時報四二巻七号）

昭和四六年

銀行預金の差押と相殺（上）（下）（判例タイムズ二五五号・二五六号）

住宅ローン（法律時報四三巻一〇号）

日照権の法的構造（1）（2）（3）（ジュリスト四九〇号・四九三号・四九四号）

昭和四七年

法的観点からみた日照問題（不動産研究一四巻三号）

間接被害者の損害賠償請求権（判例タイムズ二八二号）

昭和四九年

日照権の法的構成（ジュリスト特集「日照権」）

昭和五一年

日照問題について（講演記録）（建築行政一〇二号）

昭和五四年

不当利得法の新しい動向について(上)(下)(判例タイムズ三八六号・三八七号)

昭和五五年

建築基準法と相隣関係(ジュリスト特集「行政法の争点」)

物権変動をめぐる現在の問題点(講演記録)(書斎の窓二九九号)

昭和五六年

質借権に基づく妨害排除(法学セミナー三二〇号)

昭和五八年

隣人訴訟判決の問題点(ジュリスト七九三号)

昭和五九年

一橋における民法学(一橋論叢九一卷四号)

昭和六〇年

繁藤地区山崩れ災害(法律時報五七卷三号)

昭和六一年

騙取金銭による弁済について——不当利得類型論の視点から——(一橋論叢九五巻一号)  
消費者取引における約款の適正化(手形研究三八二号)

昭和六三年

日照権（法律事件百選・ジュリスト九〇〇号）

西ドイツの債権法改訂委員会の作業について（Ⅰ）（一橋論叢九卷三三三号）

EC指令と製造物責任（判例タイムズ六七三三三号）

権利論（法学教室九七号）

平成二年

「EC」指令の成立と各国の事情（国民生活二〇卷五号）

賃借権に基づく妨害排除請求について——物権と債権の交錯——（講演記録）（九州国際大学法経研究一卷三三三号）

製造物責任の現状と展望 はじめに・製造物責任立法への提案（NBL四五六号・四五八号）（↓製造物責任の現状と課題（別冊NBL二四号）（平成四年））

題（別冊NBL二四号）（平成四年）

平成三年

製造物責任立法化の焦点（晋和春季号）

平成四年

製造物責任（Key Word）（法学教室一三六号）

### 三 判例研究

昭和三二年

商法四二条表見支配人の権限の範囲等（最判昭和三二年三月五日民集一一卷三三三九三五頁）（企業会計九卷九号）

民法第七〇三条の「他人ノ財産」の意義（最判昭和三二年四月一六日民集一一卷四四六三八頁）（一橋論叢三八卷六号）

昭和三四年

即時取得と占有改定(最判昭和三二年二月二七日民集一一卷一四号二四八五頁)(一橋論叢四二卷二号)

昭和三五年

賃借権に基づく妨害排除(最判昭和二八年二月一四日民集七卷一二号一四〇一頁)(判例百選)

昭和四〇年

代位権の代位行使の許否(最判昭和三九年四月一七日民集一八卷四号五二九頁)(民商法雑誌五一卷六号)

第三者のした債務者の財産減少と不法行為責任(広島高判昭和三八年二月四日高裁民集一六卷九号七六七頁)(民商法雑誌五二卷三号)

債務者の適正価格処分行為が詐害行為にあたるとされた事例(最判昭和三九年一月一七日民集一八卷九号一八五一

頁)(民商法雑誌五二卷六号)

昭和四一年

譲渡禁止の特約と銀行の承諾(最判昭和二八年五月二九日民集七卷五号六〇八頁)(銀行取引判例百選)

引渡不能と解除権(大判大正二年五月二日民集一九卷三二七頁)(売買(動産)判例百選)

建物保護法一条所定の対抗力を有しない例(最判昭和四〇年六月二九日民集一九卷四号一〇二七頁)(民商法雑誌五四卷二号)

日照妨害と建築基準法違反(東京地判昭和四〇年二月二四日判例時報四三三三三号一八頁)(判例時報四四四四号・判例評論九一号)

期限の利益喪失約款と民法五一一条(東地判昭和四〇年二月二五日判例時報四三三〇号一四頁)(金融商事判例七号)

第三者の範囲(大判明治四一年二月一五日民集一四卷一二七六頁)(不動産取引判例百選)

金融取引における期限利益喪失約款の効力(東地判昭和四一年四月一九日金融商事判例二二二頁)(金融商事判例二四

号)

民法第一七七条の背信的悪意者にあたらぬ例等(最判昭和四〇年二月二日民集一九卷九号二二二頁)(民商法雑誌  
五五卷二号)

昭和四二年

占有訴権に基づく仮処分に対する本権者の損害賠償請求の可否(東京高判昭和四一年一月一日判例時報四七一号三二  
頁)(判例時報四八〇号・判例評論一〇二号)

死者の慰謝料請求権とその相続性の否定(東京地判昭和四二年三月二七日判例時報四七五号一八頁)(判例時報四八三  
号・判例評論一〇三号)

赃物である金銭と即時取得(最判昭和四一年二月一日金融商事判例四三三号一三頁)(金融商事判例七三三号)

土地の賃貸人が賃借権の譲渡につき承諾をする義務を負う場合と賃借権譲受人の賃貸人に対する借地権取得の主張の可  
否(最判昭和四二年一月一七日民集二二卷一号一頁)(民商法雑誌五七卷二号)

稲苗と附合(大判昭和六年一〇月三〇日民集一〇卷二二号九八二頁)(ジュリスト「民法の判例」)

昭和四三年

死者の慰謝料請求権の相続性(最判昭和四二年一月一日民集二二卷九号二二四九頁)(交通事故判例百選)

傷害を受けた者の近親者のなす慰謝料請求権(最判昭和四二年六月一三日民集二二卷六号一四四七頁)(民商法雑誌五八  
卷一号)

個人会社の代表者の受傷による会社損害の賠償を認めた事例(東京地判昭和四二年二月八日判例タイムズ二一六号一  
七一頁)(判例タイムズ二二二号)

昭和四四年

個人会社の代表者の負傷と加害者に対する会社の損害賠償請求(最判昭和四三年一月一五日民集二二卷二二号二六一

昭和四五年

売買契約当事者間における買主の取得時効の援用（最判昭和四四年一二月一八日民集二三卷二二号一四六七頁）（金融商事判例二二一號）

土地の賃借権と建物保護法一条による対抗力（最判昭和四四年一〇月二八日民集二三卷一〇号一八五四頁）（民商法雑誌六三卷一號）

自己土地上の賃借権の準共有（昭和三八年六月一八日民事甲一七三三号民事局長解答先例集追Ⅲ一一三〇の二二九）（不動産登記先例百選）

昭和四六年

過失相殺につき人損と物損とで相殺割合を異にした事例等（東京地判昭和四六年一月二八日判例時報六二四号五五頁）

(判例時報六三七号・判例評論一五一号)

代物并済予約債権者の清算義務と後順位者の地位（最判昭和四五年八月二〇日民集二四卷九号一三二〇頁）（民商法雜誌  
六五卷一号）

債権担保のための清算型代物弁済予約についての釈明権不行使の違法事例（最判昭和四十六年六月一八日金融商事判例二七六号二頁）（金融商事判例二八七号）

イタイイタイ病第一次訴訟第一審判決の法的検討（富山地判昭和四十六年六月三〇日判例時報六三三五号二頁）（竹下守夫と共同執筆）（判例時報六四六号・判例評論一五四号）

本人の実印を所持する代理人と民法一一〇条（最判昭和四五年一月一日民集二四卷一三号二〇八一頁）（民商法雑誌  
六六卷一号）

取立債務につき取立に赴かなくても解除しうる事例（最判昭和四七年一月二〇日金融商事判例三〇五号六頁）（金融商事  
判例三三五号）

昭和四八年

日照通風を害する建物建築が不法行為となる例（最判昭和四七年六月二七日民集二六卷五号一〇六七頁）（民商法雑誌六  
八卷六号）

昭和四九年

占有補助者——使用人（最判昭和三五年四月七日民集一四卷五号七五一頁）（民法判例百選Ⅰ）

昭和五〇年

民法四一六条二項の予見時期（大判大正七年八月二七日民録二四輯一六五八頁）（民法判例百選Ⅱ）

昭和五七年

土地の面積表示売買における面積不足の場合の履行利益賠償義務の有無（最判昭和五七年一月二一日民集三六卷一号七  
一頁）（金融商事判例六五〇号）

昭和六〇年

月刊誌の執筆・編集・発行各担当者の共同不法行為責任——「北方ジャーナル」事件（旭川地判昭和五六年九月三日判  
例時報一〇四〇号八五頁）（マスコミ判例百選（二版））

編集部員による原稿紛失と慰謝料請求権（東京地判昭和五八年九月二六日判例時報一一〇六号九三頁）（マスコミ判例百

選(二版)

平成元年

解体移築と建築物の同一性(最判昭和六十二年七月九日民集四二巻五号一一四五頁)(街づくり・国づくり判例百選)

平成二年

建築基準法六五条の建築物と民法二三四条一項の適用の有無(最判平成元年九月一九日民集四九巻八号九五五頁)(平成

元年度重要判例解説)

四 その他(座談会等)

昭和三六年

*Jus ad rem* とその発展的消滅(研究報告)(私法二三号)

昭和三七年

法律家というもの(一橋大小平学報三五号)

昭和三九年

民事裁判官の裁量の自由と衡平の活動余地(ドイツ・オーストリー比較法学会)(ジュリスト二九五号)

昭和四一年

民法学の未来像(1)(2)(座談会)(書齋の窓一三四号・一四〇号)

於保不二雄・物権法上(書評)(法律時報三八巻九号)

生命侵害の損害賠償(シンポジウム報告)(私法二九号)

加藤一郎編・現代法と市民（書評）（法律時報三八卷一二号）

昭和四二年

論争・日照権は当然か（朝日新聞一月二日朝刊）

昭和四三年

生活妨害（公害）とその救済（座談会）（ジュリスト三九〇号）

全銀協・当座勘定約定書を検討する（1）（2）（3）（座談会）（手形研究一三一号・一三二号・一三三号）

昭和四四年

当座勘定約定書について（金融法務事情五〇九号）

昭和四五年

根拠当取引は今後どのように変わるか（1）（2）（3）（手形研究一五七号・一六〇号・一六一号）

昭和四七年

私法における法の解釈・法の解釈（まとめ）（座談会）（ジュリスト増刊四号「法の解釈」）

強制執行法改正要綱と民法（研究会）（ジュリスト五一七号）

日照権の法的状況（朝日新聞三月一七日々刊）

日照問題と都市行政（週間とちやう八月三日）

昭和四八年

個人信用情報センターの運用をめぐる法律上の留意点（座談会）（手形研究一七卷一号）

土地担保をめぐる諸問題(座談会)(手形研究二〇七号)

昭和四九年

金融機関と消費者保護(座談会)(金融法務事情七〇五号)

割増金付定期預金の問題点(対談)(金融法務事情七二三号)

ローン契約書ひな型試案の問題点(上)(下)(座談会)(手形研究二一八号・二二〇号)

昭和五〇年

物権法講評(受験新報五〇年三月号)

昭和五八年

不動産物権変動の法理(研究会)(ジュリスト増刊)

昭和五九年

民法解釈の盲点(1)(2)(3)(座談会)(法学セミナー三五四号・三五五号・三五六号)

昭和六〇年

いのちの値段(座談会)(法学セミナー三七二号)

昭和六一年

いま民法学は 課題と接近(座談会)(法学セミナー三七三号)

法律関係の清算と不当利得(シンポジウムにおける報告)(私法四八号)

「消費者の保護」の翻訳を終えて(金融法務事情一一三四号)

昭和六三年

法学学習ガイドダンス・民法（対談）（法学セミナー四〇一号）  
生成発展する「権利」について（かれっじ六号・東電学園）

昭和六四年

民法学の課題と方法（１）（２）（座談会）（法律時報六一卷二号・四号）

平成二年

製造物責任の現状と課題（座談会）（自由と正義四一巻一〇号）  
同論異論「PL法は必要か」（日経産業新聞一〇月一七日）

平成三年

製造物責任（シンポジウム司会と報告）（私法五八号）

平成四年

甲論乙論「製造物責任立法への取組みに思う」（債権管理五二号）